

大崎、トヨタ車体が開幕2連勝、オムロンも順当勝ち ～第32回日本ハンドボールリーグ第2週～

第32回日本ハンドボールリーグ第2週は9月29、30日に三重などで男子4試合、女子3試合が行われ、大崎電気、トヨタ車体が開幕2連勝を飾り、湧永製薬も初勝利をマーク、女子・オムロンも順当に白星を積み上げた。

男子の大崎-Honda戦は中川、宮崎の連打で先行した大崎に対し、Hondaも鶴見、柳本のサイドで追いつき、その後は大崎・宮崎、Honda・竹田のシュートが効果的に決まり、一進一退の接戦となった。前半残り5分を切って10-9と大崎1点リードの場面でHondaがタイムアウト。しかし、これが裏目となり、Hondaのミスを豊田、太田の速攻に結びつけた大崎が3点を連取、13-9と4点差で折り返すと、後半立ち上がりにも岩本のミドル、猪妻のポスト、太田の速攻で16-9と一気に差を広げた。この失点がHondaにとって大きく響き、GK四方の好守や柳本、鶴見のシュートなどで必死に食い下がったが、猪妻らで着実に加点した大崎が余裕あふれる戦いぶりでがっちりと白星を握った。

前回2位の湧永に挑んだ豊田合成は、3-2-1の高いDFシステムで湧永の攻撃リズムを崩し、攻めては畠中、桶谷らの活躍で前半18-17と1点先行する大健闘。しかし、後半に入ると湧永が本領を発揮。下川のサイド、山口のポストで逆転に成功してリズムをつかみ、さらに合成に退場者が出てチャンスを逃さず新、下川らで後半10分には26-19と7点差をつけた。その後も湧永は攻撃の手をゆるめず、東長濱、武藤らの力強いプレーで圧倒、着実にリードを広げて勝利をものにした。また、この試合で湧永は史上初のチーム通算10,000得点を達成した。

女子3試合はソニー-北国銀行、広島メイプルレッズ-三重バイオレットアイリスが1点を争う大接戦となったが、V3を目指すオムロンはHC名古屋相手に31-12と圧勝、クイーンの貫禄を見せつけた。この試合、佐久川の得点から4連取したオムロンがあっさりと先行。対する名古屋は9分過ぎに菅谷が得点したが、オムロンの堅い守りに苦しみ、2点目を奪うまでに17分あまり時間を費やした。15-3と大量リードで前半を折り返したオムロンは、後半に入っても吉田、佐久川らで加点、名古屋は14分過ぎに3連取したが、流れを引き寄せるまでには至らず、オムロンが31-12で順当勝ちした。

ソニー-北国戦は、長野のカットイン、田中の速攻などで14分6-2と4点リードを奪ったソニーが、その後も優位をキープして12-9でUターン。後半に入るとGK田代がソニーのサイドシュートをことごとくセーブする活躍もあってリズムをつかんだ北国が猛反撃、8分14-13と逆転すると、その後も勢いに乗って上町らで加点、13分17-14として開幕戦で広島メイプルレッズを破った好調さをアピールした。しかし、前回3位のソニーがこのまま引き下がるはずもなく、一進一退となった終盤に田中の連続速攻で逆転に成功。残り5秒、同点を狙った北国・野路のシュートが空を切り、ソニーが22-21で逃げ切って初勝利をつかんだ。(2ページに目につく)



開幕2連勝を飾った④トヨタ車体・香川⑤オムロン・安心院

第3週の日程

- | | | |
|---|---|-------------------------|
| 10月13日(土) | ・福井・敦賀市総合運動公園体育館(JR北陸本線敦賀駅コミュニティバス「運動公園東口」下車徒歩3分) | 14:00～(男) 北陸電力×大崎電気 |
| ・愛知・大同工業大学石井記念体育館
(名鉄常滑・河和線大同町駅徒歩5分) | | 13:00～(男) トヨタ自動車×Honda |
| ・佐賀・神埼中央公園体育館(JR長崎本線神埼駅徒歩5分) | | 15:00～(男) 大同特殊鋼×豊田合成 |
| | | 14:00～(男) トヨタ紡織九州×トヨタ車体 |

広島メイプルレッズが手痛い引き分け

広島での広島メイプルレッズ - 三重バイオレットアイリス戦は、金鎮順、大前を軸に着実にチャンスを活かした広島が先行。後半残り5分を切って24-20と4点リードを奪い、前週逃がした地元での白星に近づいたと思われた。しかし、桂の連打で2点差として勢いづいた三重は、伊藤のゴールで1点差に迫り、さらにラストチャンスでノータイム7mTをゲット。これを伏見がきっちりと決め24-24の引き分け。広島にとっては痛く、三重にとっては勝ちに等しい価値ある引き分けとなった。

翌29日、奈良でのトヨタ車体 - トヨタ自動車戦は、地力に優るトヨタ車体が鶴谷、崎前、門山らで前半から抜け出そうとするところを、トヨタ自動車も地元出身の山口の活躍で食らいつき、試合は白熱した。後半は新鋭・高智の活躍やエース門山が存在感を見せつけたトヨタ車体の独壇場となったものの、トヨタ自動車のスピードも見ごたえ充分だった。

同日、香川でのトヨタ紡織九州 - 北陸電力戦は、双方のスピード一派な攻撃にGKの好守も光って一進一退の展開。村上、阪らで逃げるトヨタ紡織を北陸電力は桜井、高田らの活躍で追走した。後半もよく粘った北陸電力は、15分、21-26と射程距離で終盤を迎えたが、そこからトヨタ紡織が佐久間の速攻や呉相民のカットインで8連取。力強いラストスパートを見せたトヨタ紡織が初勝利をマークした。

次週第3週は、10月3日から8日にかけて秋田国体が行われるため、10月13日に再開。福井、愛知、佐賀で男子のみの4試合が組まれており、中でも佐賀でのトヨタ紡織 - トヨタ車体の一戦は、ブレーオフキップ争いには見逃せない注目カードとなる。なお、女子は日本代表のオランダ遠征が組まれているため、第4週も試合がなく、再開は第5週(10月27、28日)からとなる。

9月29日(土) 男子
三重・鈴鹿市立体育館

大崎電気	31 (13 - 9)	23	Honda
2勝0分0敗	18 - 14		1勝0分1敗
<0/1> K 浦 和	中 谷 3/ 4		
1/1 5/10 豊 田	鶴 見 6/11		
3/ 5 前 田	柳 本 3/ 3 2/2		
2/ 4 中 川	河 濑 0/ 0		
0/ 1 永 島	竹 田 5/10		
4/ 9 岩 本	横 地 2/ 7 0/1		
3/ 3 太 田	伊 藤 0/ 0		
0/ 1 酒 井	高 見 0/ 0 0/1		
<3/4> K 濱 口	青 山 0/ 0		
0/ 1 岩 永	吉 村 K <0/1>		
1/ 2 東 野	嶋 2/ 7 0/1		
4/ 6 猪 妻	吉 井 K		
1/ 3 望 月	四 方 K		
7/12 宮 崎			

1/1 30/57 7(FPP)6 21/42 2/5
審判(池淵・檜崎) 観客 600人

9月29日(土) 女子
京都・京都市体育館

オムロン 31 (15 - 3) 12 HC名古屋
2勝0分0敗 16 - 9 0勝0分2敗

<1/1> K 勝 田	近 藤 K <0/1>
3/ 5 水 野	佐 藤 2/ 9
3/ 4 安心院	宮 田 1/ 3
0/ 0 卷 菅	谷 3/ 9 1/2
2/ 2 西 本	羽出重 1/ 5
5/5 5/10 吉 田	高 橋 0/ 0
0/ 0 中 島	本 澤 2/10 0/1
7/ 8 佐久川 高 橋	0/ 1
0/ 1 坂 元 家 城	K <0/4>
0/ 3 久 野 秋 山	0/ 3
1/ 2 洪廷昊 水 野	2/ 4
<1/2> K 藤 間 德 永 K	
0/ 0 高 田	
5/15 東 濱	

5/5 26/50 7(FPP)11 11/44 1/3
審判(佐路・佐藤) 観客 560人

9月29日(土) 女子
広島・東区スポーツセンター

広島メイプル レッズ 24 (12 - 9) 24 三重バイオレットアイリス
0勝1分1敗 12 - 15 1勝1分0敗

<0/3> K 高 森	横 川 0/ 0
4/ 5 土 屋	桂 7/ 7 1/1
1/ 2 樹 山	石 黒 1/ 1
1/ 3 青 戸	宮 下 3/ 7
3/ 3 大 前	菊 池 0/ 0
2/ 4 植 垣	谷 口 1/ 4
2/ 4 菅 野	北 村 0/ 0
0/ 0 坪 井	伏 見 2/ 4 2/2
0/ 1 伊 藤	橋 本 寛 2/ 2
2/ 3 坂 口	毛 利 K <1/3>
0/ 0 安 斎	星 野 1/ 3
0/ 0 石 山	小 川 1/ 1
1/2 8/18 金 鎮 順	伊 藤 3/11
K 江 頭	森 田 K <2/3>

3/6 21/46 9(FPP)5 21/40 3/3
審判(武智・東福) 観客 423人

9月30日(日) 男子
奈良・生駒市市民体育館

トヨタ車体 37 (17 - 12) 17 トヨタ自動車
2勝0分0敗 20 - 5 0勝0分1敗

<2/3> K 木 下	岩 田 1/ 3
0/1 1/ 1 田 中 勝	高 野 0/ 0
1/1 7/ 9 高 智	坂 口 1/ 1
2/ 4 安 藤	栗 崎 2/ 5
1/ 3 野 村	小 林 0/ 0
1/ 4 藤 田	佐 藤 K
4/ 6 竹 下	澤 田 0/ 0
1/ 1 北 出	肥 土 0/ 0
1/ 2 長 谷 川	出 會 0/ 1
5/ 7 鶴 谷	稻 本 K <2/4>
<1/2> K 谷 井	光 増 1/ 9
1/2 1/ 2 香 川	三 上 1/ 4
4/ 5 崎 前	福 田 4/ 8 0/1
7/10 門 山	山 口 5/10 2/4

2/4 35/54 7(FPP)15 15/41 2/5
審判(佐々木・高原) 観客 665人

9月30日(日) 男子
香川・高松市香川総合体育館

トヨタ紡織 九州 35 (16 - 13) 23 北陸電力
1勝1分0敗 19 - 10 0勝0分2敗

<0/2> K 松 野	高 橋 3/ 5
8/13 中 島	神 田 0/ 8
1/ 3 村 上 直	落 合 2/ 5
0/1 1/ 1 植 木	桜 井 4/ 6 2/3
6/ 8 村 上 秀	前 田 0/ 0
0/1 7/10 吳 相 民	高 田 7/10
3/ 4 佐 久 間	杉 山 0/ 0
1/ 1 鶴 田	北 村 0/ 0
0/1 2/ 2 海 道	表 1/ 1
6/ 7 阪	安 藤 K <3/3>
<1/2> K 谷 川	山 原 3/ 9 1/1
0/ 3 藤 山	龜 田 0/ 1
0/ 1 船 木	有 江 0/ 0
0/ 0 泉 原	

0/3 35/53 7(FPP)11 20/45 3/4
審判(河合・田中潤) 観客 922人

9月30日(日) 女子
福岡・福岡市民体育館

ソニーセミコンダクタ九州 22 (12 - 9) 21 北国銀行
1勝0分1敗 10 - 12 1勝0分1敗

<0/1> K 中 島	木 澤 K <1/3>
0/1 7/14 郭 惠 静	内 平 0/ 0
3/ 4 長 野	上 町 6/ 8 1/1
1/1 6/12 田 中	宮 前 0/ 1
0/ 0 石 崎	佐 久 川 1/ 1
1/ 5 工 藤	新 田 1/ 1
0/ 3 亀 山	小 野 澤 4/ 6
1/ 3 高 栖	横 嶋 3/ 4
0/ 0 出 雲	野 路 良 0/ 5
<0/1> K 飛 田	武 井 2/11 1/1
0/ 4 橋 口	田 代 K <1/2>
0/ 0 佐 師	仲 宗 根 0/ 0
1/ 4 寺 田	井 上 0/ 0
2/3 0/ 0 東	若 松 2/ 2

3/5 19/49 9(FPP)7 19/39 2/2
審判(金子・児玉) 観客 1075人

9月30日(日) 男子
福岡・福岡市民体育館

湧永製薬 38 (17 - 18) 21 豊田合成
1勝1分0敗 21 - 3 0勝0分2敗

K 志 水	大 立 K <0/1>
10/11 下 川	飛 田 1/ 2
0/ 0 山 中	黒 木 0/ 0
0/ 2 福 田	桶 谷 6/12
1/ 1 吉 田	門 野 0/ 0
1/1 0/ 2 東	糸 田 1/ 1
K 坪 根	大 植 1/ 1
8/11 新 藤	渡 久 山 1/ 7 1/1
4/ 4 武 藤	中 村 2/ 5
<0/1> K 松 村	椿 原 1/ 2
1/ 5 古 家	藏 元 0/ 0
0/ 1 渡 邦	畠 中 7/14
9/12 山 口	杉 田 0/ 0
4/ 8 東 長 濱	佐 藤 0/ 0

1/1 37/57 1(FPP)11 20/44 1/1
審判(亀井・堀川) 観客 1279人

男女個人賞レース 第2週終了

《男子》

得点王

1 吳 相 民 (トヨタ紡織九州)	17 点	(2試合)	1 郭 惠 静 (ソニ一)	15 点	(2試合)
2 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	15 点	(2試合)	2 桂 裕美子 (バイオレットアイリス)	12 点	(2試合)
3 新 建 二 (湧永製薬)	14 点	(2試合)	2 吉田 祥子 (オムロン)	12 点	(2試合)
3 門山 哲也 (トヨタ車体)	14 点	(2試合)	4 水野 恵子 (オムロン)	11 点	(2試合)
5 猪妻 正活 (大崎電気)	13 点	(2試合)	4 小野澤 香理 (北国銀行)	11 点	(2試合)
5 下川 真良 (湧永製薬)	13 点	(2試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	11 点	(2試合)
5 宮崎 大輔 (大崎電気)	13 点	(2試合)	4 上町 史織 (北国銀行)	11 点	(2試合)
8 山 口 修 (湧永製薬)	12 点	(2試合)	4 植垣 曜恵 (メイプルレッズ)	11 点	(2試合)
8 桶 谷 英則 (豊田合成)	12 点	(2試合)	4 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	11 点	(2試合)
10 高智 海吏 (トヨタ車体)	11 点	(2試合)	10 橋本 寛子 (バイオレットアイリス)	10 点	(2試合)
10 村 上 秀行 (トヨタ紡織九州)	11 点	(2試合)	11 大前 典子 (メイプルレッズ)	9 点	(2試合)
12 高田 哲志 (北陸電力)	10 点	(2試合)	11 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	9 点	(2試合)
12 東 慶一 (湧永製薬)	10 点	(2試合)	11 東濱 裕子 (オムロン)	9 点	(2試合)
12 竹田 寛明 (Honda)	10 点	(2試合)	14 菅谷 美奈 (H C 名古屋)	8 点	(2試合)
12 豊田 賢治 (大崎電気)	10 点	(2試合)	14 田中 美音子 (ソニ一)	8 点	(2試合)
12 渡久山 慶一 (豊田合成)	10 点	(2試合)			
12 畠中 益喜 (豊田合成)	10 点	(2試合)			

フィールド得点賞

1 吴 相 民 (トヨタ紡織九州)	15 点	(2試合)	1 郭 惠 静 (ソニ一)	12 点	(2試合)
1 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	15 点	(2試合)	2 水野 恵子 (オムロン)	11 点	(2試合)
3 門山 哲也 (トヨタ車体)	14 点	(2試合)	2 小野澤 香理 (北国銀行)	11 点	(2試合)
4 下川 真良 (湧永製薬)	13 点	(2試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	10 点	(2試合)
4 宮崎 大輔 (大崎電気)	13 点	(2試合)	4 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	10 点	(2試合)
6 山 口 修 (湧永製薬)	12 点	(2試合)	6 桂 裕美子 (バイオレットアイリス)	9 点	(2試合)
6 新 建 二 (湧永製薬)	12 点	(2試合)	6 大前 典子 (メイプルレッズ)	9 点	(2試合)
6 桶 谷 英則 (豊田合成)	12 点	(2試合)	6 上町 史織 (北国銀行)	9 点	(2試合)
9 猪妻 正活 (大崎電気)	11 点	(2試合)	6 東濱 裕子 (オムロン)	9 点	(2試合)
9 村 上 秀行 (トヨタ紡織九州)	11 点	(2試合)	10 橋本 寛子 (バイオレットアイリス)	8 点	(2試合)

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 猪妻 正活 (大崎電気)	11点 / 13射	0.846	1 橋本 寛子 (バイオレットアイリス)	8点 / 8射	1.000
2 下川 真良 (湧永製薬)	13点 / 17射	0.765	2 桂 裕美子 (バイオレットアイリス)	9点 / 10射	0.900
3 吳 相 民 (トヨタ紡織九州)	15点 / 21射	0.714	2 大前 典子 (メイプルレッズ)	9点 / 10射	0.900
4 山 口 修 (湧永製薬)	12点 / 17射	0.706	4 水野 恵子 (オムロン)	11点 / 14射	0.786
5 村 上 秀行 (トヨタ紡織九州)	11点 / 16射	0.688	4 小野澤 香理 (北国銀行)	11点 / 14射	0.786

7mスロー得点賞

1 渡久山 慶一 (豊田合成)	5 点	(2試合)	1 植垣 曜恵 (メイプルレッズ)	8 点	(2試合)
2 柳本 義文 (Honda)	4 点	(2試合)	2 吉田 祥子 (オムロン)	7 点	(2試合)
3 豊田 賢治 (大崎電気)	3 点	(2試合)	3 東 サヤカ (ソニ一)	4 点	(2試合)
3 東 慶一 (湧永製薬)	3 点	(2試合)	4 桂 裕美子 (バイオレットアイリス)	3 点	(2試合)
3 桜井 渉 (北陸電力)	3 点	(2試合)	4 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	3 点	(2試合)
			4 郭 惠 静 (ソニ一)	3 点	(2試合)
			4 武井 夏紀 (北国銀行)	3 点	(2試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のG Kが対象)

1 安藤 功規 (北陸電力)	4本 / 6射	0.667	1 森田 由美 (バイオレットアイリス)	3本 / 5射	0.600
2 濱口 靖 (大崎電気)	4本 / 8射	0.500	2 藤間 かおり (オムロン)	1本 / 3射	0.333
2 稲本 圭亮 (トヨタ自動車)	2本 / 4射	0.500	2 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	1本 / 3射	0.333
4 木下 国大 (トヨタ車体)	2本 / 6射	0.333	4 高森 妙子 (メイプルレッズ)	2本 / 8射	0.250
4 谷川 一寿 (トヨタ紡織九州)	2本 / 6射	0.333	4 木澤 尚子 (北国銀行)	1本 / 4射	0.250
4 吉村 康広 (Honda)	1本 / 3射	0.333	4 飛田 季実子 (ソニ一)	1本 / 4射	0.250
4 谷井 清二 (トヨタ車体)	1本 / 3射	0.333			

登録抹消

大同特殊鋼 No.3 服部 広幸

第32回日本ハンドボールリーグ成績表

第2週終了 9月30日

順位	男子	トヨタ車体	大崎電気	湧永製薬	トヨタ紡織九州	Honda	大同特殊鋼	北陸電力	トヨタ自動車	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	トヨタ車体								37 17	34 27	2	2	0	0	4	71	44	27
2	大崎電気				31 23	33 29					2	2	0	0	4	64	52	12
3	湧永製薬				29 29					38 21	2	1	1	0	3	67	50	17
4	トヨタ紡織九州			29 29				35 23			2	1	1	0	3	64	52	12
5	Honda	23 31						28 21			2	1	0	1	2	51	52	-1
6	大同特殊鋼	29 33									1	0	0	1	0	29	33	-4
7	北陸電力			23 35	21 28						2	0	0	2	0	44	63	-19
8	トヨタ自動車	17 37									1	0	0	1	0	17	37	-20
9	豊田合成	27 34		21 38							2	0	0	2	0	48	72	-24

順位	女子	オムロン	三重ハイオレットアイリス	ソニーセミコンダクタ九州	北国銀行	広島メイフルレッスン	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン			25 24			31 12	2	2	0	0	4	56	36	20
2	三重ハイオレットアイリス					24 24	27 20	2	1	1	0	3	51	44	7
3	ソニーセミコンダクタ九州	24 25			22 21			2	1	0	1	2	46	46	0
4	北国銀行			21 22		27 26		2	1	0	1	2	48	48	0
5	広島メイフルレッスン		24 24		26 27			2	0	1	1	1	50	51	-1
6	H C 名古屋	12 31	20 27					2	0	0	2	0	32	58	-26

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。